

デジタル放送セミナー概要報告

- 主 催：放送システム専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部（業務G）
- 参加者数：約200名

概 要

当協会放送システム専門委員会では、放送機器・システム分野の制度政策、技術検討、国際化等の調査研究を行い、業界の技術向上、発展に貢献することを目的に活動を行っております。

2011年7月24日に全国で地上放送がアナログからデジタルに移行するのを受けて、各放送事業者を始め放送機器関連事業各社では、地上デジタル放送の導入に向けた取り組みが進められています。これらの様々な動きにも注目し、当専門委員会では順次調査を進めて

おります。

このような中で、当専門委員会では、総務省による地上波放送のデジタル化への移行には欠かすことのできないインフラ技術の一つである難視聴対策のギャップフィラー技術、並びに、放送衛星による取り組みをテーマに取り上げました。

まず、平田哲郎副主査（日本通信機（株））の開催の挨拶のあと、以下のようなプログラムで進められました。

プログラム

○ギャップフィラー技術

(1)「長野県山ノ内地区における地形難視聴対策 ギャップフィラー実証実験報告」

株式会社 日本デジタル放送システムズ（J-DS）
技師長 高山 享 氏

(2)「ギャップフィラーによる秋田県羽後町地デジ 難視聴解消への取り組み」

株式会社 NHKアイテック
本部 営業企画部 副部長 岩田昭光 氏

(3)「ギャップフィラーシステムとその機器測定法」

DXアンテナ株式会社
開発第2部 部長 片山友幸 氏

○「放送衛星による暫定的難視聴対策について」

社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）
セーフティネット事業室
室長 小池不二男 氏

